



優秀賞



里山づくり活動 作業風景



公園ボランティア養成講座



ササユリ保護活動

公園分野

市民との協働による歴史的風土の保存と活用

取組概要

古代、政治と文化の中心として栄えた飛鳥。その豊かな自然と文化的遺産の保護、活用を図る役割を担い整備されてきたのが国営飛鳥・平城宮跡歴史公園飛鳥区域である。公園を活動の舞台として1995年に誕生したボランティア「飛鳥里山クラブ」では、現在約 200 名の方々が参加し、公園管理者と協力して公園内での里山環境の保全、ササユリなど希少種の生育環境の保全といったグリーンインフラの維持管理を行っている。その他にも飛鳥の自然や文化的遺産を巡るガイド活動など、飛鳥の歴史的風土を守り育むために多岐にわたる活動を実施している。

受賞理由

継続的な活動となるよう工夫し、長期間の活動によって希少な植物を増殖させ公園の魅力を高めたほか、公園内だけではなく地域での活動を通じて里山の保全活動等に対する理解を広める取組であることが評価された。

取組のポイント

ボランティアグループとしての持続性を重視し、2点の工夫によって活動を継続させている。1点目は継続的に組織の新陳代謝を図るため、年間を通じた養成講座プログラムを毎年実施し、毎年10名以上の新規会員を迎えていることである。2点目は活動持続のモチベーションと活動の自主性を高めるため、クラブ内に自然観察・園芸・野鳥など8つのサークル活動を立ち上げ、会員各自の興味に合わせたインフラ維持活動を実施できる環境を整えていることである。これらの工夫により、28年間にわたって会員自らが活発に活動する歴史あるクラブに成長を続けてきた。

受賞者について



受賞者

国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所
飛鳥里山クラブ
一般財団法人公園財団 飛鳥管理センター

コメント

この度は栄誉ある賞を賜り誠にありがとうございます。優秀賞の名に恥じないよう、今後も公園事務所、飛鳥里山クラブ、飛鳥管理センターの3者が一体となって、飛鳥の歴史的風土を守り育む活動に取り組んでまいります。皆さまもぜひ、日本人の心のふるさと”飛鳥”に遊びに来てください。

団体概要

ボランティアグループ「飛鳥里山クラブ」は公園の間伐作業にあたって市民参画が呼びかけられたことをきっかけに、1995年に誕生しました。公園事務所や飛鳥管理センターと連携しながら、公園内のメンテナンスやイベントの実施等、飛鳥地方の歴史的風土を継承する活動を行っています。

問い合わせ先

国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所
調査設計課長 島崎 敦
0744-54-2662 shimazaki-a8311@mlit.go.jp